

# エコニュース さって



第 6 9 号  
平成 29 年 5 月 9 日  
さって市民環境ネット  
TEL 48-0331

さって市民環境ネットが

## “シラコバト賞”と“埼玉県社会福祉大会会長賞”

の荣誉に輝く 報告：澤村

この度、幸手市から、さって市民環境ネットの身近なところでの長年の活動と業績を顕彰するとして推薦され、平成28年度の“シラコバト賞”（彩の国コミュニティ協議会；会長上田知事）と“埼玉県社会福祉大会会長賞”（埼玉県社会福祉協議会；会長上田知事）の荣誉を受けました。会員全員が受賞を大変感激し喜びました。シラコバト賞の趣旨は、「日頃、身近なところで、住みよい地域社会のために、多くの方々に積極的な実践活動を続けています。彩の国コミュニティ協議会では、そうした活動を行う個人及び団体にシラコバト賞を贈呈し、その活動と業績を顕彰しています。」とあり、活動項目は、長年の「住みよいふるさとをつくる活動」をもって推薦されました。また、埼玉県社会福祉大会会長賞は、趣旨は、要項から「（表彰の範囲及び資格に値する）社会福祉事業功労者等に、大会会長が表彰する。」とあり、表彰の範囲及び資格に値する基準は「現に社会福祉事業のボランティア団体として8年以上にわたり、率先して活動を行い、その功績が顕著なもの」、また「社会福祉事業に理解と熱意を有する団体で、社会福祉事業に協力を行い、その功績が顕著なもの」ということから推薦されたものと思われます。



受賞を喜ぶ、さって市民環境ネットのメンバーたち

今回の受賞は、現在の会員活動だけでなく当会を退会された方々の活動、行政からの連携・支援、地元小中学校との協働事業、関係した団体の協力・支援などがあっての賜であり深く感謝しています。

因みに我々の日頃の活動を改めて紹介しますと「“環境を、身近なところから少しでも良く”をモットーに、趣旨として、“幸手市の自然豊かな環境を、子どもたち

の、そのまた子どもたちに引継ぐために、市民ひとり一人が、できることから活動していくことが必要と考えています。一人ではできないことを、知恵と力を出し合って、いっしょに活動しませんか？”に基づいて活動しています。具体的な活動は①中川探検ウォーク〔自然を観察

する]豊かな水辺の環境、発見の旅、②行幸湖の[浮島づくり][生態系を豊かにする]水辺の再生をはかる協働事業、③ハウネンエビプロジェクト[自然を観察する]田んぼの妖精、未知なるものとの遭遇、④エコライフDAY[生活環境を見直す]地球温暖化防止活動のきっかけ作り、⑤腐葉土と野菜づくり[有機野菜栽培を目指して資源の循環をはかる]循環農業の小さな実践、⑥環境講座[環境について学習する]今後の環境活動へつなげて、⑦展示活動の実施[環境活動の発信]様々な機会をとらえて、⑦ほか、また、あなたのアイデアで新しい活動・・・」、です。

我々の上記の身近な活動は小さなものではありませんが、幸手市の将来像「都市と自然が調和した安心・安全で活力あるまち」そして重点的政策の「自然と共生した安心・安全でゆとりのあるまち（安心安全・環境分野）、健やかで生き生きとした暮らしのあるまち（健康福祉分野）、市民一体となり自立した地域を育む（市民活動・人権分野）など」にマッチしており、引き続き微力ながら貢献して行きたいと考えています。

最後にボランティア団体として今回の受賞を糧に、またこの榮譽に甘んじることなく、より住みよい地域社会に向けて、また高齢者社会への更なる展開と生きがい、そして子ども・若者へのパイプ役を果たしながら引き続き活動を続けていく所存です。

## 『第4回市民環境講座（食品ロスを減らそう）』

報告 福田

平成28年度第4回市民環境講座が3月4日（土）中央公民館にて開催、参加者は28名でした。始めは、埼玉県庁環境部の沖中利章さんで、食品ロスをなくそうと題し約1時間講演。内容は非常に広範囲で食品ロス問題全てに亘っていた。食品ロスとは、食べることが出来るのに捨てられてしまう食べ物のことです。この食品ロス問題に対する認知度は年齢と共に上昇し、若い人に認知度が低いことが大きな問題だそうです。日本の食品ロスの発生量は632万トンで、国民一人当たり毎日茶碗一杯のご飯を捨てていることになります。発生源は食品関連事業と一般家庭で発生量はほぼ同じです。食品関連事業における日本独自の食品納品ルールが、食品ロスの一因とされ、その食品納品期限（1/3ルール）の見直しが試みられ、成果を出しつつあるそうです。この食品ロスの問題で重要なことは、『消費期限』と『賞味期限』の違いを正しく理解することから始まります。ここで確認しておきます。『消費期限』（弁当、サンドイッチ、生麺等）とは：過ぎると食べない方がよいとする期限です。これに対し『賞味期限』（スナック菓子、カップ麺、缶詰等）は：美味しく食べることが出来る期限で、過ぎても少し美味しくなくなるだけの期限で、食べられなくなる期限ではありません。更に講義は、フードバンク活動の有効性やフードドライブ、食品リサイクル構築等も詳細に説明された。又、埼玉県の取り組みとして、食べっきり SaiTaMa 大作戦を説明された。

①食べっきりスタイル：食品ロスを出さないライフスタイルの実践：買い過ぎない、使い切る、食べきる。②食べきりタイム：食べ残しの多い宴会で、締めめの前の15分間を食べきりタイムとして食べきる。③食べきりメニュー：外食店に於ける、小盛りメニューの設定と利用による食品ロス削減からなる。

この作戦で徹底的に食品ロスを減らしたいとのことでした。もったいないを意識するだけで食品ロスは減少する。できることから始めよう。

最後に、今日の参加者に、食品ロスに関する情報を、特に若い人に情報発信して欲しいと要望された。そして小学校への出前講座は積極的にどこでも行うとして締めくくられた。

次はコープネット事業連合 CSR 推進室の岩佐透さんで、美味しく食べて無駄をなくそうと題し、コープの取り組みを紹介された。食品ロスの一因として、食の外部化や簡便化がある。家庭

では3食料理しなくなっており、作る人と食べる人のつながりの希薄化がおこっている。

野菜や果実は工業製品と異なり、いい時もあればそうでない場合もある。それを捨ててしまうと食べ物を無駄にするだけでなく、生産者のこだわり、思い、労力やエネルギー等全てが無駄になる。コープは農産物の御三家といわれる『不揃い』、『はねっこ』、『天候被害品』を生産者支援で、これを訳あり商品として安く販売している。ネット注文では産地支援セット、もったいないセット等で、何が届くか分からない商品が直ぐに売り切れてしまう。

お米余りの現況から、米を豚の飼料へ回す米の栽培支援にも取り組んでいるそうです。特に印象的だったのは、産直牛の場合、出生から育成、肥育して加工（食べる）まで僅かに22か月の命で終える。産直豚は僅か6か月の命、産直若鳥は僅か50日で短い命を終える。このことを理解して食べることも重要だとのことでした。衣、食、住、水、薬、防災等、全て生き物が関わ



参加者の質問に答える沖中氏（中央）と岩佐氏（向かって右側）

っているので生き物を大切にしてほしい。人と人のつながりを大切にし、美味しく食べて無駄をなくそうと締めくくった。

質疑応答では、消費期限とロスとの関係、豚の飼料米の生産、若い人への情報発信の仕方、更にフードバンクの幸手市内設置要望等があり、進行役が演者、聴衆、スタッフをリードし、非常に有意義で楽しい講座であった。

本日の講座は、食べ物を大切にだけでなく、捨てるゴミの量を減少させ、温暖化防止にもつながる内容で、みんなで出来ることから始めよう。

### 第143回腐葉土と野菜づくりの会

報告：澤村

9月11日（日） 午前8時開始、天気；曇り、出席者数；15名

今回の作業：草取り、ダイコンの種まき。

前回の草取り後、20日間経て既に全面に雑草が生えてしまったので、先ず全員で草取りを行いました。また、地主に5月トラクターで畑を耕して貰いましたが、かなり土壌が硬くなっていました。地主は9月の初めは稲刈り・米の収穫で多忙なため時間がなかったのも、自分達でクワ、スコップやマンノで掘り起し、マンガや手で土塊を細かくしてから畝をつくりました。その後、空きびんやコーヒー缶の底を利用して30cm間隔に1cmの穴をあけ、各穴に3粒ずつ（3点に離して）ダイコンの種を播きました。今回は2種類のアオクビタイプの種を選び、約750粒（後日間引きして250株）を播きました。その後、土を被せて手で軽くたたき、更にもみ殻をまき、最後にジョーロで水をまきました。

10月2日（日）臨時開催。午前9時開始、天気；曇り、出席者数；14名。

今回の作業：熟成腐葉土頒布と草取り。ダイコンの間引きを予定しましたが、次週半ばに台風襲来が予報されていたのでダイコンの間引きは9日（日）に延期しました。冒頭、2基と3基の一部の熟成腐葉土の頒布と草取りの2グループに分かれて作業しました。2基目の熟成腐葉土

には床が桜の木の下にあるため桜のひげ根が多数混入しており半値で頒布しました。次年度は切返し時にシートを挟みひげ根が入らないようにしたい。また、奥マメの房の膨れ具合を見たら、収穫には少し早めでしたが、柔らかく美味しそうなので急きょ2畝を収穫しました。

### 平成29年度「さって市民環境ネット」活動計画一覧(※)

| 事業項目                           |               | 開催時期                        | 場所                 | 備考                                  |
|--------------------------------|---------------|-----------------------------|--------------------|-------------------------------------|
| スタッフ定例会                        |               | 毎月1回 原則第3水曜日<br>16:00~18:00 | 中央公民館              | 幸手市の<br>環境課と<br>の連携や<br>協力を得<br>て実施 |
| 環境講座<br>開催                     | 中川探検<br>ウォーク  | 4月22日(土)<br>9:30~13:30      | 東公民館~<br>宇和田公園     |                                     |
|                                | 見学会           | 11月頃                        | 環境配慮企業等            |                                     |
|                                | 野鳥観察          | 1月末~2月初め                    | 中川流域他              |                                     |
|                                | 座学と実践         | 3月初め頃                       | 中央公民館              |                                     |
|                                | ハウネンエ<br>ビ観察  | 5月20日(土)<br>9:30~12:00      | 西公民館と千塚団地<br>周辺の水田 |                                     |
|                                | 学校出前<br>講座    | 5月下旬2時限授業                   | 幸手小                |                                     |
| 腐葉土と野菜づくり<br>の会                |               | 原則毎月第3日曜日午前                 | ひばりが丘桜泉園と<br>近隣の農園 |                                     |
| 行幸湖の浮島づくり<br>('浮きウキフェスタ')      |               | 10月頃の週末                     | 権現堂公園管理事務<br>所、行幸湖 |                                     |
| エコライフ DAY 実施                   |               | 7月~8月                       | 学校他                |                                     |
| ゴーヤカーテン作り                      |               | 5月~9月                       | 南公民館               |                                     |
| 中川流域、行幸湖の植<br>物、生き物、水質等の<br>観察 |               | 年間を通して随時                    | 中川流域、行幸湖、他         |                                     |
| 展示会                            | 市民健康福<br>祉まつり | 11月5日(日)                    | ウエルス幸手             |                                     |
|                                | 子育て応援<br>まつり  | 12月10日(日)                   | ウエルス幸手             |                                     |
| 「エコニュースさ<br>って」発行              |               | 原則年6報                       | 会員、学校、公共施設<br>へ配布  |                                     |

※ 詳細は2か月前までに決まり、広報さって、アットホームニュース、公共施設への掲示等で参加募集を行います。

【会員募集中!】環境保全活動と一緒にやっていただく方を募集しております。是非、貴方も参加しませんか。【さって市民環境ネット】★問い合わせ先; 久保田 修(代表) まで TEL 0480-42-1264

幸手の環境活動グループ: 幸手権現堂桜堤保存会、権現堂川地域環境保全協議会、幸手自然愛護会、幸手ひがし幼稚園、エコ・グリーン幸手、くらしの会、上高野婦人会、倉松探検隊、幸手中央ロータリークラブ、すこやか「食」の会、子育て支援ねっとわーく、いきがい・はなみずきの会(いきがい大学伊奈学園20期)